

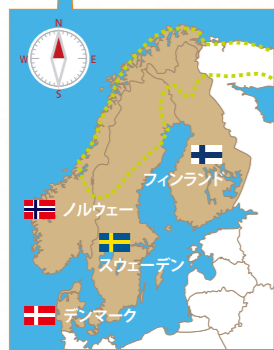


北欧の音楽



北欧生まれの楽器たち

北欧とひとくりにしても、エリアが広すぎますが、自然環境と密接に関わりながら生まれ、伝承されていた、この地域にしかない楽器が沢山あります。基本的に木の特質を活かした楽器が多く、12音階以外の音を表現することができます。自然に近い音と言えるかもしれません。また 気候の厳しい北極圏(ラップランド)では、「ヨイク」という独特な声法があり、楽器と並んで紹介される事があります。



..... ラップランドエリア



ヨーヒッコ
フィンランド

ニッケルハルバ
スウェーデン

ハーディングフェーレ
ノルウェー



ヨイク
ラップランドエリア



リコーダー
スウェーデンを中心
に北欧全域



カンテレ
フィンランド



ラングレイク
ノルウェー



北欧ポイント

北欧の写真を撮影してみませんか

会場周辺では、北欧を感じる風景も!!!
メイボールやラーヴ、ダーラナホースなどと一緒にカメラを持参して
写真を撮ってみてください。



ラーヴ
ラップランドに住む
サーメの人々が使っているテント



ダーラナホース
スウェーデン・ダーラナ地方
発祥の伝統工芸品



メイボール
北欧でよく作られるナチュラルなリースを頭に載せて
ぜひ写真を撮って下さい



メイボール
夏至祭では人々がメイボールを囲み
短い夏を楽しんで踊り明かします



プレゼント

白いものを身につけている方には
素敵なプレゼント!

白夜にちなんで、白い物(洋服、帽子、靴など)を身につけて来られた方には、スウェーデンで定番のジンジャークッキーのプレゼントがあります。



先着300名

※ラベンダーのステージ近く本部で受付



ワークショップ

北欧の小さな森の妖精“ニッセ”を作ろう!

デンマークの素材で、国旗の帽子をかぶった北欧の小さな森の妖精“ニッセ”を作りませんか? 北欧では、身近にある自然素材で大人も子どもも手作りを楽しみます。



先着40名

参加費:100円

11:00~14:30に
ワークショップテントにお越しください。



SHOP & FOOD

北欧のデザインや雑貨は、スタイリッシュな中でも可愛さあり!!お気に入りを探してみてください。また、北欧ではフィーカと呼ばれるティータイムがあり、お茶やおやつを食べながら過ごす時間を大切にしています。スウェーデンではおなじみのリンゴンベリーのジャムを使ったアイスクリームや北欧ドッグなども、是非この機会に味わって下さい。



後援

スウェーデン大使館、ノルウェー王国大使館、フィンランド大使館
スカンジナビア政府観光局、関西日本フィンランド協会、
スノーコレクティブ



お問合せ

Harmony Fields
株式会社 ハーモニーフィールズ

http://www.harmony-fields.com/ info@harmony-fields.com
〒666-0021 兵庫県川西市栄根1-7-18-3F Tel.072-774-8838 / Fax.072-757-4134



カラダとココロに浴びよう、太陽と音楽のシャワー

北欧の音楽ピクニック

WHITE NIGHT - Nordic Music Picnic -

日時 6月20日(日) 11:00 ~ 16:30

場所 万博公園 自然文化園

入園料 大人 - 250円
小中学生 - 70円
コンサート無料



the stage of the sun
太陽のステージ

the stage of forest
森のステージ

shops and workshop
お店 & ワークショップ

the stage of lavender
ラベンダーのステージ

助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
Supported by the Commemorative Organization for the Japan World Exposition('70).
EXPO'70





地図



万博記念公園駅

太陽のステージ
the stage of the sun
15:00 - 16:30

太陽に向けて
北欧トッププレイヤーが
豊かな音色を奏でます。

森のステージ
the stage of forest
11:00 - 14:00

月桂樹の森に
木漏れ日と共に降り注ぐ
のびやかな音色。

ラベンダーのステージ
the stage of lavender
11:50 - 14:40

ラベンダーの薫りと共に
優しい音色が
そよ風に運ばれてきます。

お店 & ワークショップ
shops and workshop
お店 & ワークショップ

北欧関連のお店や
ワークショップに
触れることのできるエリア

太陽のステージ

北欧音楽シーンにおいて、
最もエキサイティングで
大胆なフルート奏者

ヨーラン・モンソン Göran Månsson ▶ フルード・プレイヤー
<http://goranmansson.se/>

四代にわたる伝統音楽演奏家の家系に生まれ、ストックホルムの王立音楽学校を卒業、祖父母から受け継いだハヴェロ村の伝統しつつも、ロックやクラシック、古楽、ジャズなど多くの音楽を演奏してきたヨーラン・モンソン。

フィンランドをベースに活躍する独特な世界観を持つ「ヤラルホルン」や、2004年ユーロビジョン・コンテストにも出場した「サレク」をはじめ活動の内容は多岐にわたる。また、日本で発売されている無印良品のBGMシリーズ8<北欧のトラディショナルミュージック>にも参加、2006年よりほぼ毎年来日公演を行うなど日本への思い入れも強い。

全長1.6メートルの巨大「コントラバス・ブロックフルーテ」をはじめ、リコーダー、フルート、ホイッスルなどありとあらゆる笛を演奏する彼が私たちに示すのは「笛」という楽器の無限の可能性。卓越したパフォーマンスをもって、私たちの心にスウェーデンの音を響かせる。



ヘルシンキ出身のシンガーであり、
民族音楽学者。
幅広いスタイルの民謡を歌う

カロリーナ・カンテリネン

Karoliina Kantelinen ▶ ヨイク、カンテレ
<http://www.myspace.com/karoliinakantelinen>

ヘルシンキ出身のシンガーであり、民族音楽学者。幅広いスタイルの民謡を歌い、自ら作曲活動も行う。世界的に有名となったフィンランドのフォークミュージックグループ「ヴァルティナ」の代理メンバーを務めた時には、その存在感を世界に示した。

カンテレやセルフプロイト(柳笛)を使ったソロのパフォーマンスをする他、フィンランドの伝統楽器ヨーヒッコ(馬の尻尾の毛を弦にした擦弦楽器)とのデュオや女性ヴォーカルグループなど様々なアンサンブルでの共演をしている。彼女のスタイルは、カレリアンヨイクをベースとした、伝統的

世界に2人だけ
「カレリアン・ヨイク」
の継承者

北欧の夏のはじまり。
それは白夜の時間の訪れです。
そこに太陽がある限り、
人々は扉を開けて出かけていきます。
時間を忘れて、森や湖へ、
大切な人と、家族と。
緑と初夏の風を愛する北欧の人たちの
短くて、切ないほど恋しい時間。

最後に芝生に寝ころんだのはいつでしたか?
そのまま眠りに落ちてしまったのは?

北欧から、音楽のシャワーを
カラダとココロに。
ピクニックの待ち合わせは
あの太陽の塔の下で。

エッセイスト(アイ!デザイン)
ミチダセイコ

ゲスト

堀越彰 Akira Horikoshi ▶ ドラム
<http://www1.ttcn.ne.jp/play-ground/>



13才からドラムを始め、1990年山下洋輔ニュートリオでデビュー。日舞家の父の影響から、日本の伝統音楽を深く敬愛する。日本の伝統的な楽器と組んだ「東方異聞」, "3人にして無限大のオーケストラ" "The WILL", 動くオブジェで打楽器群を囲み空間演出をする音楽超越パフォーマンス「SOLO-ist」等を主宰。

松本太郎 Taro Matsumoto ▶ 尺八
<http://tarou.yamagomori.com/>



オーストラリアの大学に在学中、偶然耳にした海童道祖の録音に感銘を受け、即座に尺八演奏家になる事を決意。96年より、琴古流の石川利光師に師事。虚無僧本曲のテクニックを軸として、ジャズ、ロック等、様々なシーンで活動している。ヨーランとは、2008年プラネタリウムで共演し話題となった。

カレリア地方



なカレワラの物語、メロディ、そして自分自身のインスピレーションを織り交せたエスニックでブルーグラス的なもの。

彼女の特徴は、何と言ってもその表現力に尽きる。一つの歌の中でも、時に苦悩に満ち深い悲哀をたたえた、実に幅広い表現を全身を使って見せてくれる。そしてその歌声を聞くと必ず私たちは、心の奥深いところにある何か揺さぶられるのを感じるだろう。



シャナヒー shanachie <http://shanachie.jp>

みどり ▶ フィドル
Aki ▶ メロディオン、パーカッション
上原 奈未 ▶ アイリッシュハーブ

澄み切った湖のように
美しく、深く、優しい

北欧やケルトのトラディショナル音楽の美しさに魅せられ1998年結成。関西を中心にホールやイベント、美術館、森の中など、様々なスタイルで活動を行ない、伝承音楽に留まらない独自のアレンジと世界観のあるサウンドで聴衆を包み込む。「Shanakafe」では、アンブレグドなトリオスタイルで、より身近に北欧の音楽をご紹介。

山田晋吾とマキノリョータ

Yamada Shingo & Makino Ryota
<http://park11.wakwak.com/~kielilyml/>

山田 晋吾 ▶ ギター、ブズーキ
マキノリョータ ▶ フィドル、ハーディーガーディー、歌
山田 舞子 ▶ <サポート> チェロ

ノスタルジックで
不思議な音色が琴線に響く

北欧、アイルランドや東ヨーロッパの伝統音楽を彷彿とさせるオリジナル楽曲で東海圏を中心に活動中。2008年ニヶ坂3枚目のアルバム「鳥と猫と街の歌」をリリース。フォークと民族音楽が折り重なり融合して絵画的で空想的な情景が広がる。芸術と音楽が融合した様なサウンド。



森のステージ

11:00~11:15 ▶ 織田優子 11:20~11:45 ▶ fISS
12:35~13:00 ▶ 山田晋吾とマキノリョータ
13:35~14:00 ▶ シャナヒー
※小雨決行、荒天中止
※当日の状況で、タイムスケジュールが若干変更になる場合があります。



北欧伝統楽器の
透明感あふれる
共鳴弦の響き

fISS <http://fissfiss.web.fc2.com/>

榎原 聡子 ▶ ハーディングフェーレ、フェーレ
本田 倫子 ▶ ニッケルハルバ

ノルウェーの民俗楽器ハーディングフェーレと、スウェーデンの民俗楽器ニッケルハルバのデュオで透明感あふれる共鳴弦の響きを聞かせる。grovt og grant/grovt och grant(シンブルで力強い北欧伝統音楽の奏法のこと)をベースに美しくダイナミックなリズムの北欧伝承音楽をダンス曲を中心に演奏する。



織田 優子 Yuko Oda ▶ リコーダー
<http://www.cangiante.jp/>

カンテレとリコーダーによる「Lokki(ロッキ)」のメンバー。クラシックや古楽を専門に活動しながらも、北欧の笛の音や、空気感に感性が合い、現在は北欧の曲を中心に活動。何種類もの笛を巧みに演奏し、優しく繊細な音から、力強い旋律までダイナミクスに定評がある。子供の指導にも力を入れ、リコーダーの魅力を伝えていく。

森の妖精トム達に捧げる
優しい笛の音



大森 ヒデノリ

Hidenori Omori ▶ フィドル、マンドーラ
<http://www.omorihidenori.com/>

北欧の伝統音楽に10年以上前に魅了され、以降演奏に取り組む。今では北欧音楽のフラグシップとしての存在になる。数多くの北欧、アイルランドなどのフィドルプレイヤーと共演。また優れた音楽性で多くの楽曲をアレンジし、大森ヒデノリにしかできない音楽を作り上げている。アルバム「白夜弦想」では、ヨーランが3曲参加。

優しくも激しい
スリリングなアンサンブル



ドレクスキップ

Drakskip
<http://www.drakskip.net/>

榎本 翔太 ▶ フィドル、ニッケルハルバ
野間 友貴 ▶ ヴィオラ
浦川 裕介 ▶ 12弦ギター 渡辺 庸介 ▶ パーカッション

京都で結成されたアコースティック・インストバンド。スウェーデンの伝統音楽を軸に北欧やスコットランドの伝統曲、オリジナル曲を中心に演奏。四人が対等に機能するアンサンブルを信条に、その独自の編成でアレンジを施し多彩に聴かせる。北欧 独特の三拍子「ホルスカ」の舞曲を元に現代的なアレンジを施し、蘇らせている。

かとうかなこ

Kanako Kato ▶ クロマチック・アコーディオン
<http://www.katokanako.com/>

フランスで4年間活動し、帰国後はオリジナルやフランスのダンス曲を中心に活動。アルバムにスウェーデンから来日中のAle Mollerにも参加してもらった事から、北欧の曲もレパートリーに入れるようになる。特に北欧のメロディーは、90年前のアコーディオンとの相性が良く、自然の風に合わせて蛇腹を呼吸させて演奏する。

蛇腹の息遣いが
優しく森や花に
語りかける



Soda fountains

<http://sodafountains.jp/>

伽音 ▶ ボーカル 小泉 ひとし ▶ ギター、ボーカル
宮内 大 ▶ <サポート> コントラバス
竹谷 博行 ▶ <サポート> パーカッション

日本でこれほどスウェーディッシュポップを感じられるグループはいない。2006年、互いの音楽性に共感した小泉と橋本が結成。後に女性ボーカルの伽音が加入。スウェーディッシュポップやボサノバに影響を受けたキュートで爽やかなサウンドと、メランコリックなメロディセンスが注目を集める。

スウェーディッシュの流れを汲む
甘く爽やかなポップ・サウンド